

武部沙織ちゃんが大好きな彼氏にイチャラブしゅきしゅきパイズリして、どたぶんおっぱいにプロポーズ乳内射精される話

「・・・ふふっ♡」

「沙織さん、嬉しそうですね。何かいいことでもあったのですか？」

「だってだって～♡明日、〇〇君と久々のデートなんだもん♡楽しみすぎる～っ♡」

「ああ、お前がよくのろけてるイケメン彼氏か」

「武部殿のお話を聞く限り、すごくお似合いな2人だと思います！」

「うん、とっても素敵だと思う・・・！」

「そ、そうかな～？♡えへへ～♡ありがと～♡」

・・・そう♡私にもついに、彼氏ができた♡
すごく優しくて誠実でカッコイイ、ぜ～んぶ素敵なイケメン彼氏が♡

戦車道の交流試合で知り合った友達に紹介してもらったんだけど・・・

「こんにちは。よろしくね」

「えっ…………しゅき♡♡♡」

会った瞬間、一目惚れ♡♡♡
もう、なんていうか・・・好みのタイプ、直球ど真ん中ストレートだったの♡♡♡
そこからすぐに連絡先交換して、猛烈アプローチ♡♡♡
付き合えることになった時は、ほんっつとに嬉しかった♡♡♡

明日は寄港日だから、久々に予定を合わせて〇〇君とデート♡
1日お出かけて、夜は〇〇君の家に泊まる予定なの♡

〇〇君、早く会いたいなあ・・・♡♡♡

* * *

「お待たせ。待った？」

「ううん、全然！さっき来たばかりだから大丈夫！」

ほんととは楽しみすぎて1時間前に来てただけだね♡

だってだって、今日は1日〇〇君と一緒にいれるんだよ？♡これでも全然遅い方だから♡
ショッピングして♡カラオケに行って♡おしゃれなお店でディナーして・・・♡

ああもう♡幸せすぎるよお♡

「沙織、こっちに来て」

「荷物、重いでしょ。持っあげね」

「人が多いね。はぐれちゃダメだよ」

もう♡♡♡もうっ♡♡♡なんでこんなにカッコイイの♡♡♡♡

車道側を自然に歩いてくれたり、荷物をさりげなく持ってくれたり、混雑してる場所で腰に手を回して抱き
寄せてくれたり・・・♡♡♡

彼氏力、高すぎるよっ♡♡♡・・・しゅき♡♡♡

でも、そんな超絶カッコイイ〇〇君が唯一私に見せてくれるギャップがあるの♡

それは————

——もみゅん♡ぐにゅんっ♡♡♡もちゅっ・・・♡もにゅんっ♡♡♡

「沙織・・・♡沙織い・・・♡おっぱいしゅき・・・♡」

エッチの時は、いつもこ～んな感じでふにやふにやになっちゃうの♡♡♡♡

普段のカッコイイ〇〇君とは大違い♡♡♡

「あんっ♡もう、〇〇君ったらいきなりがつきすぎだよお♡そんなに焦らなくても、おっぱいは逃げないよ？
♡」

「ほんとにおっぱい好きなんだから・・・♡ほら、いっぱいもみもみしていいからね♡」

「だって・・・♡沙織のおっぱい柔らかくてもちもちで・・・♡大好きだからあ・・・♡」

——もにゅ♡もにゅん・・・♡もちゅっ♡♡もちゅん♡♡♡

「ふわふわおっぱいすご・・・♡指がおっぱいにぐにゅんっ♡って沈み込んじゃう・・・♡何回揉んでも最高すぎるよこのおっぱい・・・♡」

「ふふっ♡ ○○君になら、いくら揉まれてもいいよ♡だって私、○○君の彼女だから♡」

「沙織優しい・・・♡好き・・・♡」

「おっぱいもみもみ♡おっぱいもちゅもちゅ～♡ふわふわもみもみ♡ふわふわもちゅもちゅ♡」

——もみゅん♡♡もにゅっ♡♡♡♡もちゅんっ♡♡♡♡♡

「はぁ・・・♡はぁ・・・♡もう我慢できない・・・♡沙織・・・♡パイズリしてっ・・・♡」

「ふふっ♡おっぱい揉んでたら、おちんちん大きくなっちゃったんだね♡いいよ♡それじゃあ・・・♡」

——ファサ・・・ッ♡

——どっつったぶうん・・・っ♡♡♡

「うおっ・・・♡デカブラえっろ・・・♡♡そのブラジャー好き・・・♡♡♡♡」

今日の下着は、レースがいっぱいついたピンクの花柄ブラジャー♡いわゆる・・・勝負下着ってやつだね♡
このブラジャー着ける日は○○君がすごい喜んでくれるんだ～♡

「さ、沙織・・・♡早くう・・・♡」

「は～い♡今からたくさんずりずりしてあげるからね～♡」

「最初はブラジャーつけたままの着衣パイズリだよね♡」

——ぬふふう・・・っ♡

——ぱちゅ♡だばっ♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡ぱん♡ぱんっ♡♡

「どう？♡私のパイズリ♡上手くてきてるかな？♡」

「あっ♡あっ♡うんっ♡沙織のパイズリ好き・・・っ♡おっきいおっぱい最高・・・♡めちゃくちゃ気持ちいい・・・♡」

「ふふっ、よかった♡でも、○○君？私はおっぱい大きくて苦勞することも多いんだよ？♡」

——ぱんっ♡♡ぱちゅっ♡♡たぱっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡ぱちゅ♡♡ぱんっ♡♡♡

「この前だって～♡戦車が動くたびにおっぱいがばるんっ♡どたぶん♡♡ってすごい勢いで揺れて大変だったなあ♡だっぶんだっぶん♡ぶるんぶるん♡♡って、キツめのスポブラで抑えても揺れが止まらなくて……すごかったんだから♡」

「もし普通のブラジャーなんて着けていったら……とんでもないことになるかも♡あ、〇〇君にとってはそっちの方が好みかな？♡ふふっ♡」

「う、うあっ……♡想像するとヤバっ……♡エロすぎる……♡」

——だぱっ♡だばんっ……♡どぱっ♡♡ぱんっ♡たぱっ♡♡たばんっ♡♡♡

「ブラジャーと言えば～♡私、おっぱい大きすぎてサイズの合うかわいいブラジャーが日本にないんだよね♡だから、バストサイズが上がるたびに海外から取り寄せないといけなくて……♡このブラジャーもそうなんだよ？♡」

「あ、でもこれって、私のおっぱいが世界レベルのすっご～くおっきいおっぱい♡ってことでもあるよね♡ふふっ♡日本人離れしたでっかあ～いおっぱい♡♡そんな爆乳でパイズリしてもらえる〇〇君は……と～っても幸せ者だね♡♡♡」

「はあ……♡はあ……♡そ、そんなデカイおっぱいに挟まれてると思うと……♡あっ♡」

「そもそも～♡こんなにおっぱいが大きくなったのは〇〇君のせいなんだからね～？♡」

——たぱ♡♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡ずりゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡

「エッチの時、毎回私のおっぱいもみもみ♡もにゅもにゅ～♡って揉みしだくんだから♡前戯の時も、本番の時もず～っと♡」

「だ、だってえ……♡沙織のもちもちおっぱい好きだからあ……♡」

「普段はかっこよくリードしてくれるのに、この爆乳を前にすると『おっぱい……♡おっぱいい……♡』ってかわいいい声で甘えてくるもんね♡」

——だぱっ♡もちゅっ♡だばんっ……♡どぱっ♡♡ずりゅんっ♡ぱんっ♡たぱっ♡♡たばんっ♡♡♡

「〇〇君のだ～いすきなおっぱいでずりずり♡もちゅもちゅ～♡♡ほらほら、おっぱいがぶるんっ♡だぼん♡って揺れてるよ～♡♡」

「うあっ♡あっ♡♡乳圧つよつよ着衣パイズリ気持ちいいっ……♡♡♡」

「じゃあじゃあ～♡も～っと気持ちよくしてあげるね♡♡えいっ♡♡♡」

——もちゅもちゅ♡♡ぐにゅん♡♡♡ぐにゅんっ♡♡♡ずりゅ♡♡ぬぷ♡♡♡♡

「あっ♡やっ♡な、なにそれ♡♡そんなの知らな…♡♡♡」

「おっぱいを左右交互に思いっきり動かして～♡♡いつもと違う刺激を与えちゃいま～す♡♡♡」

「おっぱいもちゅもちゅ♡おっぱいずりずり♡♡左右にこねこねずりずり～♡♡♡」

——ずりゅん♡♡たぷうん♡♡もちゅん♡♡♡ぐにゅん♡♡♡

「やっ♡す、すご…♡♡気持ちよすぎて腰浮いちゃう…♡♡♡ダメえ♡♡♡」

「今度は小刻みにもちゅもちゅして、亀さんを重点的にぐりぐり♡♡むにゅむにゅ～♡♡っていじめてあげるね♡♡♡」

——むにゅん♡♡♡ぐりゅん♡♡♡ぬちゅ♡♡♡もちゅん♡♡♡

「あっ♡乳肉柔らか…♡♡もちもちおっぱいい…♡♡♡」

——ビク…♡♡ビクン♡♡♡

「あは♡おちんちんビク♡ってした♡♡かわいい♡♡♡」

「さ、沙織…♡♡それ好き…♡♡気持ちいいからもっとして…♡♡」

「うんうん♡おっぱい気持ちいい♡♡パイズリ気持ちいい～♡♡♡もちろん、○○君のためならいくらでもパイズリしてあげるよ♡♡♡」

——もちゅん♡♡ずりゅん♡♡たぱ♡♡たぽ♡♡♡ぐちゅ♡♡

「はあ…♡♡はあ…♡♡沙織、パイズリどんどん上手になってる…♡♡」

「○○君のためにいっぱい練習してるんだよ～？♡♡リモコンとか棒状のものを挟んでずりずり♡♡ずりずり♡♡って、○○君のおちんちんを想像しながら疑似パイズリ♡♡練習の成果が出てるのかな～？♡♡」

「お、俺のためにそんなことまで…♡♡あっ♡♡それ想像したら精液のぼってきた…♡♡♡もう出そう…♡♡♡」

「ふっ♡遠慮しなくていいよ♡♡好きなタイミングでぴゅっぴゅして？♡♡私のエッチな体に思いっきりぶっかけていいからね♡♡♡」

——ぱちゅ♡だばっ♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡ぱん♡ぱんっ♡

「パイズリ♡♡♡パイズリ♡♡♡どたぶんパイズリ♡♡♡もちもちパイズリ♡♡♡おっぱいずりずり気持ちいい♡♡♡デカパイもちゅもちゅ気持ちいい〜っ♡♡♡」

「あっ…♡あっ♡出るっ…♡♡出るっ♡♡♡♡♡」

——だばっ♡ぱちゅんっ…♡♡だぱんっ♡どばっ♡♡ぱんっ♡ぱちゅんっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡たぱんっ♡♡♡どばっ♡♡ぱちゅん♡♡

「いいよ♡♡♡出して♡♡♡せーえき出して♡♡♡ ○○君の濃ゆいせーえき、私のどたぶんもちもちおっぱいに♡♡♡どぴゅっ♡♡♡どぴゅるるる〜〜〜っ♡♡♡♡♡」

「沙織♡沙織っ…♡♡好きっ♡♡♡♡♡♡♡」

——どぴゅんっ♡♡♡♡♡♡びゅくっ♡♡♡♡♡♡ぶっぴゅう〜〜っ…♡♡♡♡♡♡

「あんっ♡♡♡ぴゅっぴゅすごおい♡♡♡せーえき、すごい飛んでる♡♡♡」

「ぴゅっぴゅがんばれ♡♡♡♡びゅっぴゅがんばれ〜♡♡♡♡最後まで出し切ってね♡♡♡♡♡」

——ぶびゅっ♡♡♡どぴゅう…♡♡♡びゅく…♡♡♡♡♡♡

「は〜い♡♡♡1回目のぴゅっぴゅ、お疲れさま♡♡♡えちえちブラジャー着衣パイズリ、気持ちよかった？♡♡♡」

「うん…♡すごい濃いの出た…♡沙織好きい…♡」

* * *

「さ、沙織っ…♡次は…♡」

「うん♡今度は自分でおっぱいに腰へコぱんぱんするんだよね♡おっぱい両手で掴んで乳圧調整しながらの縦パイズリ♡」

2回戦目は恒例の縦パイズリ♡

このパイズリの時は、いつもの○○君とは違う一面が見れるんだよね♡

「じゃあ、ブラジャー外すね…♡んしょ…♡」

…プチっ♡

——ゆさっ♡♡どったぶうん…♡♡♡

「うおっ♡♡♡ブラのホック外した瞬間に『だぶんっ♡♡♡』って揺れるおっぱい好き♡♡♡」

「乳輪でっかぁ…♡えっ…♡♡沙織の生おっぱい最高すぎるう…♡♡♡」

「もお～♡ ○○君、生おっぱい見るたびにそれ言うよね♡ほんとおっぱい星人なんだから♡」

「だ、だってえ…♡ほんとにでっかいからつい…♡」

「○○君のエッチ♡でも、○○君にそういう風に思ってもらえるのは嬉しいな♡」

「じゃあ、そのエッチな生おっぱいを両腕でぎゅ～♡って挟んで、ズリ穴スタンバイしてあげるね♡」

——ぎゅむむう～～っ♡♡♡

——みちっ♡♡♡みちみちっ…♡♡♡

「は～い♡ ○○君専用、えちえちおっぱいオナホルの完成～♡♡♡」

「ほら、来て？♡彼女の爆乳のふっかぁ～い谷間の奥まで、カッコイおちんちんずぶふう～♡って挿入…♡して？♡♡♡」

「う、うおっ♡エロっ…♡♡さ、沙織っ…♡♡♡」

——ずぶっ♡♡♡ぬぶふう～～～～っ……♡♡♡♡♡♡

「あ♡あっ♡♡沙織ばいの谷間、ふっかぁ…♡♡♡」

「んっ…♡おちんちん、すっごく深いところまで入ってきたぁ…♡♡♡」

「乳肉柔らかぁ…♡最高すぎる…♡沙織のおっぱいマンコしゅき…♡♡♡」

——ぐりぐり…♡♡ぐりぐりい…っ♡♡♡

「あんっ♡もう、○○君ってば、ぐりぐり腰を押し付けて乳内をゆっくり堪能してるの？♡」

「さ、さっき出したばかりで敏感だし…♡いきなり動いたら気持ちよすぎてすぐに出ちやいそうだからっ…♡乳圧にチンポを慣らさないと…♡」

(ふ～ん、なるほど…♡ ○○君、今日は一段とよわよわおちんちんなんだぁ…♡それじゃあ…アレしてあげよっ♡)

「よ、よしっ♡いくぞっ♡もう我慢できない♡このドスケベおっぱい犯すっ…♡♡」

——だばっ♡ばちゅ♡♡どちゅん♡♡ぐちゅ♡♡ずりゅ♡♡ぬちゅ♡♡

「うおっ♡あっ♡う、動くたびに乳肉がチンポに絡みついてきて気持ちいいっ…♡♡♡」

——どちゅ♡ばちゅ♡♡ずりゅ♡だばっ…♡♡ぱん♡♡♡たぱん♡♡♡ぱん♡

「…ふふ♡」

「あん♡あ～ん♡♡ ○○君におっぱい犯されちゃってる♡♡パイズリレイプされちゃってるよお～♡♡♡」

「私の汗と○○君のザーメンがぐちよぐちよに混ざり合ったドスケベおっぱい♡♡♡カッコイイおちんちんさんにぬぶぬぶ犯されちゃってる♡♡♡」

「あっ！？♡♡い、今その煽りされたらヤバいっ…♡♡♡」

「○○君、これ好きだもんね～♡エッチなセリフで煽られると、すっごく気持ちよくなっちゃって♡♡私のおっぱいに種付けぴゅぴゅすることしか考えられなくなっちゃうんだもんね～？♡♡♡」

——ガクガク♡♡♡ガクッ…♡♡♡

「あれあれ～？♡ ○○君、腰ガクガクしちゃってるよ？♡♡おっぱいに負けちゃうの～？♡♡♡」

「はあ…♡はあ…♡く、くそ♡♡気持ちよすぎて腰抜けそう…♡♡♡」

「ほらほらあ～♡もっとおっぱいレイプして気持ちよくなる？♡♡腰へこぱんぱん♡♡腰へこぱんぱん♡♡♡」

「ま、負けるか♡おらっ♡おらっ♡♡おっぱい…♡♡おっぱいい…♡♡♡」

——ぱん♡♡だぱん♡♡ばちゅ♡♡たぱ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡ぱちゅ♡♡ぱん♡♡♡

「いや～ん♡♡ぱんぱん激しい～♡♡ ○○君のつよつよチンポに負けちゃう～♡♡♡」

「こ、このっ…♡エッチなセリフで煽ってくるドスケベ彼女めっ…♡悪い子にはお仕置きだっ…♡♡♡」

——もちゅ♡♡ぐにゅう♡♡もにゅん♡♡♡♡♡♡

——ずりゅ♡♡たぱ♡♡たぱん♡♡♡ぱちゅん♡♡♡どぱ♡♡ぱん♡♡♡♡♡♡

「あん♡♡ぱんぱんしながらおっぱいもみもみするのダメえ♡♡エッチな気分になっちゃう～♡♡♡」

「はぁ♡はぁっ…♡♡このもちもちすべすべでエッチな爆乳、揉みしだいてやるからなっ…♡♡♡」

「あっ♡♡いやん♡♡おっぱいレイプダメ♡♡おっぱい犯されるのやだやだぁ〜っ♡♡♡怖いよお〜っ♡♡♡」

「おらっ♡おらっ♡腰へコくらえっ♡♡お仕置きぱんぱんくらえっ♡♡♡」

「いつもは優しい○○君が縦パイズリの時にだけオラオラ系になっちゃうのしゅき♡♡♡メスの本能刺激されて興奮しちゃう♡♡♡○○君カッコイイ〜っ♡♡♡♡」

「しゅきしゅき♡♡♡○○君しゅき〜♡♡♡もっと私のおっぱい犯して？♡♡♡エッチなおっぱいにお仕置き…して？♡♡♡」

——もちゅもちゅんっ♡♡♡♡♡ぐにゅんっ♡♡♡♡もちゅんっ♡♡♡♡♡

——だばっ♡ばちゅんっ…♡♡だばんっ♡どばっ♡♡ぱんっ♡ばちゅんっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡たぱんっ♡♡♡どばっ♡♡ばちゅん♡♡♡♡

「沙織のおっぱいは俺のものだ♡♡誰にも渡さないぞ〜っ♡♡♡おっぱい孕ませぴゅっぴゅして、ドロドロせーえきでマーキングしてやるから覚悟しろお〜っ♡♡♡♡♡」

「あん♡♡あ〜ん♡♡♡せーえきでちゃう♡♡♡濃ゆいのどぴゅどぴゅしちゃう〜ん♡♡♡沙織のおっぱいに負けちゃうよお〜♡♡♡♡♡」

「し、心情代弁っ…！？♡♡ダメ♡♡主導権握られちゃう♡♡♡デカパイに負けちゃう♡♡♡」

——だばっ♡ばちゅん♡♡だばんっ♡どばっ♡♡ぱんっ♡たばっ♡♡たぱんっ♡♡♡ばちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡どばっ♡♡ばちゅん♡♡

「あっ♡♡♡あっ♡♡♡ダメ♡♡♡気持ちいい♡♡♡沙織のデカパイ最高しゅぎる♡♡♡♡イクイク♡♡♡ふっかい谷間に大量射精すりゅっ♡♡♡♡♡」

「おっぱい妊娠確定乳内射精♡♡♡♡♡ぶっ濃いのでりゅ♡♡♡でりゅっ…♡♡♡どぴゅっ♡♡♡びゅっくう〜〜〜っ♡♡♡♡♡」

——どぴゅっ♡♡♡♡♡♡ぶびっ♡♡♡♡♡♡びゅくっ♡♡♡♡♡♡びゅるるるるるう〜〜〜〜っ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

「ああああっ♡♡♡♡♡で、でりゅっ♡♡♡♡♡沙織っ♡♡♡♡沙織っ……♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

——どぶっ♡♡♡♡♡♡♡♡びゅくびゅくう♡♡♡♡♡♡ぶびっ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

「おっぱい気持ちいい♡♡♡彼女のおっぱいに敗北ぴゅっぴゅするの最高すぎりゅっ…♡♡♡♡♡♡」

「うんうん♡♡おっぱい気持ちいいね～♡♡♡♡♡♡彼女のおっぱいに全力乳内射精するの、気持ちいいね～♡♡♡♡♡♡」

「○○君のぴゅっぴゅカッコイイぞ～♡♡♡♡もっと出して♡♡♡♡出して♡♡♡♡♡最後までカッコイイしゅきしゅきぴゅっぴゅ…シて？♡♡♡♡♡♡」

——ぶぽっ…♡♡♡どぶう…♡♡♡♡♡ぶぴっ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡

——ぽた…♡♡♡ぽたっ…♡♡♡♡♡

「わあ♡♡♡すっごお～い♡♡♡せーえき溢れて床に垂れちゃってる…♡♡♡♡♡♡」

——ぬふふう…っ♡♡♡♡

——ごぼ…っ♡♡♡ぶぴっ…♡♡♡♡♡

「に、2回目なのにすっごい出た…♡沙織のおっぱい、破壊力すごすぎるよお…♡♡♡♡」

「…ふふっ♡あれだけ『悪い子にはお仕置きだ～♡』なんて言ってたのに、最後はおっぱいに負けちゃったね♡♡♡」

「ほら、見て？♡谷間から溢れてきた精液♡♡私のおっぱい、○○君にたくさん汚されちゃった♡♡♡」

「谷間も…ほら♡○○君の濃ゆいのでいっぱいだよ？♡♡♡」

——ぐっばあ…っ♡♡♡♡♡♡

——どろお…♡♡♡♡♡♡

「…っ！♡♡♡♡」

ふふっ♡○○君ってば、ザーメンブリッジに釘付け♡♡♡

射精後のドロドロおっぱい見せつけると、いつもこんな感じで興奮してくれるんだよね♡♡♡

「それくらいおっぱい気持ちよかったんだね～♡今日はいつもより量も多くて……きゃっ！？♡♡」

——ちゅっ♡んちゅ…っ♡♡ちゅぽっ♡♡♡

「あっ♡んあっ…♡い、いきなりキスっ…♡んむっ♡♡♡」

——ちゅ～っ♡♡んちゅっ♡れろおっ…♡♡ちゅぶっ♡♡♡

「んっ…♡○○君…♡好き…♡♡好き…♡♡♡」

——ちゅっ♡ちゅう…♡ちゅう～っ…♡♡

「ぷはっ…♡も、もう…♡♡びっくりしちゃった…♡♡♡」

「ふう…♡ふう…っ♡だって…♡こんなエッチなザーメンブリッジ見せつけられたら我慢なんてできるわけないだろっ…♡」

——ビキッ…♡♡ビキッ…♡♡♡

「あっ♡おちんちん、また大きくなって…♡」

「続き…しよっか♡」

「沙織、今日はこのままおっぱいでしてほしい…いいかな？」

「うん♡もちろんだよ♡ ○○君が望むことは、なんでもしてあげるんだから♡♡」

(…も、もお～♡ ○○君ってば、時々こういう大胆なことしてくるんだから………そういうところが、しゅき♡

いつもならこのまま本番エッチの流れなんだけど…今日はパイズリを堪能したい気分なのかな？♡
ふふっ♡おっぱいに夢中な○○君…とってもかわいい♡)

「じゃあ、腰上げて？♡今度は膝上パイズリでたっぷりずりずりしてあげるね♡」

——だふっ…♡

「はあい、準備完了♡おきくて元気なおちんちんさ～ん♡♡もちもちたぶんおっぱいの中に、おいで～♡♡♡」

——ずふふふふう～～～～っ…♡♡♡♡♡

「あんっ♡硬いの入ってきたあ♡♡」

——ずりゅ…♡ずりゅっ…♡♡もちゅ…♡♡もちゅんっ…♡♡♡

「甘ズリもちゅもちゅ～♡ずりずり～♡まずは優しくおっぱい動かして～♡♡じ～っくり精子熟成させていこうね♡♡♡」

「あ…っ♡あふう…♡優しくもちゅもちゅされるの好き…♡♡♡」

「ふふっ♡このままシンプルなパイズリをするのもいいけど～♡…こういうのはどう？♡」

——むっぎゅう～～～～っ♡♡♡ぎゅむむう～～～～っ…♡♡♡♡

「う、うあっ！？♥それヤバっ♥♥乳圧強い・・・♥♥♥」

「両腕をおっぱいの前に回して～♡おちんちんをおっぱいでぎゅ～♡♡ってハグ♡♡♡乳圧つよつよ、おちんちん抱きしめパイズリだよ♡♡♡」

——もちゅっ♡ずりゅっ♡♡たぽっ♡♡たぽんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡どぽっ♡♡ぱんっ♡♡♡

「おちんちん抱っこされるの気持ちいいでちゅね～♡♡♡おっぱいでい～っぱいよちよちしてあげまぢゅからね～♡♡♡」

「あっ♥ママ・・・♥沙織ママあ・・・♥♥しゅきい・・・♥♥♥」

「ふふっ♡かわいいかわいい○○君♡♡沙織ママのおっぱいにたくさん甘えていいでちゅよ～♡♡♡」
「す～き♡す～き♡♡いっぱいしゅき♡♡だ～いすき♡♡♡」

——だぽっ♡だぽんっ・・・♡もちゅっ♡どぽっ♡♡ぱんっ♡たぽっ♡♡ずりゅっ♡♡たぽんっ♡♡♡

「あっ♥あっ・・・♥気持ちよすぎる・・・♥♥一気に精液のぼってきたっ・・・♥♥♥」

「ダメ♡ダ～メ♡♡も～っと気持ちよくなってからぴゅっぴゅしないもったいないよ♡♡♡」
「がまん♡がまん♡♡ぴゅっぴゅ、がまん♡♡♡お射精がまんだよ♡♡♡♡がんばれ♡♡♡がんばれ♡♡♡」

「うう・・・っ♥♥ダメって言われると余計に射精したくなっちゃうう・・・♥♥♥」
「あっ♥やっ♥♥もちもちおっぱい好きっ・・・♥♥沙織好きい・・・♥♥♥」

「ふふっ♡私も好きだよ♡♡○○君のこと、だ～いすき♡♡何回でも言っちゃうんだから♡♡♡」
「これからもおっぱいにたくさん甘えさせてあげるね♡もみもみ♡ちゅぱちゅぱ～♡♡♡あ、もちろんパイズリもね♡♡♡○○君のこと、たくさん気持ちよくしてあげたいな♡♡♡」

「だから・・・♡○○君、これからもずっと一緒にいてくれる・・・？♡♡♡」

「あ、当たり前だよっ・・・♥♥ずっと一緒にいるに決まってる・・・っ♥♥♥」

——ずりゅっ♡♡たぽっ♡♡たぽんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡だぽんっ・・・♡もちゅっ♡どぽっ♡♡ぱんっ♡♡♡

「はあ・・・♥はあ・・・♥♥お、おっぱいをこんなに大きくした責任も取るっ・・・♥♥♥」

——ぱちゅ♡だぽっ♡ぱちゅっ♡♡たぽっ♡♡ずりゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぽんっ♡♡♡ぱん♡ぱんっ♡♡♡

「それで…♡それで♡♡大好きな沙織のこと、一生幸せにする…っ♡♡♡」

——だばっ♡だばんっ…♡どばっ♡♡ばんっ♡たばっ♡♡たばんっ♡♡♡もちゅっ♡どばっ♡♡ばちゅっ…♡♡

「え…えっ♡えっ？♡♡も、もお～♡○○君ってばあ～♡♡いきなり何言ってるの～♡♡♡♡」

(ウソっ…♡♡♡ウソウソウソっ♡♡♡今、一生幸せにするって…♡♡♡えっ？♡♡♡えっ？♡♡♡♡こ、これってもしかして…プロポーズ！？♡♡♡♡♡ホントに？♡♡♡♡夢じゃないよね…？♡♡♡♡♡ウソ…♡♡♡超嬉しいんだけど～～～っ♡♡♡♡♡)

「○○君…♡♡それ、ほんと…？♡♡♡」

「はあ…♡はあ…♡♡わたし今、すっっごくドキドキしちゃってる…♡♡♡♡♡」

「そんな嬉しいこと言われちゃったら…♡♡♡我慢できなくなっちゃうんだからっ♡♡♡♡♡」

——だばんっ♡ばちゅんっ♡♡たばんっ♡♡ばんっ♡♡どばっ♡♡たばんっ♡♡ずりゅ♡♡♡どばっ♡♡ぐちゅっ♡♡たばんっ♡♡♡ばちゅんっ♡♡ぬちゅっ♡♡ばちゅん♡♡

「あっ！？♡あぁ♡♡は、激しっ…♡♡♡沙織…♡♡沙織…っ♡♡♡♡♡」

「○○君と結婚したら～♡♡♡毎日、おはよう♡♡♡いってらっしゃい♡♡♡おかえり♡♡♡おやすみ♡♡♡のキス♡♡♡するんだぁ♡♡♡♡♡」

「好き♡♡♡好～き♡♡♡って愛を囁きながらちゅっちゅ～っ♡♡♡ちょっとのはずだったのに、いつの間にか盛り上がり濃厚ベロチュー♡♡♡『あんっ♡もう…♡お仕事、遅刻しちゃうよ…？♡』な～んて言いながらギリギリまで大好きな○○君とのキスを堪能しちゃう♡♡♡♡♡」

「昼間は、○○君が帰ってくるのを楽しみにしながら家事を頑張るの♡♡♡カッコイイ○○君の顔を想像したら、1人でおうちにいるのも全然寂しくないんだから♡♡♡♡」

「それでそれで～♡♡♡○○君が帰ってきたら♡♡♡えちえちむちむちな裸エプロンで『ご飯にする？お風呂にする？それともわ・た・し？♡♡♡』って誘惑しちゃうの♡♡♡♡♡」

「新妻のエッチな姿にムラムラしちゃった○○君♡♡♡♡強引に私を押し倒して、デカパイ思いっきり揉みしだいて…♡♡♡♡仕事の疲れマラでガッチガチになった超絶カッコイイツよつよチンポを乳内に挿入♡♡♡♡ずりゅっ♡♡♡♡ずりゅっ♡♡♡♡だばっ♡♡♡♡だばんっ♡♡♡♡もちもちおっぱいの感触確かめながら自分で乳圧調整して、ふっかい谷間に濃厚ザーメンどびゅどびゅう～っ♡♡♡♡♡」

「そのまま、シャワーも浴びてないのに寝室まで連れていかれて全力SEX開始♡♡♡♡『あん♡あん♡♡♡つよつよチンポ誘惑してごめんなさい♡♡♡旦那様のためにたくさんご奉仕するから許して～♡♡♡』な～んて言いながら、〇〇君に好きにされちゃいたいの♡♡♡♡♡」

——どちゅ♡だばん♡どば♡♡ばちゅん♡♡たばん♡♡ばん♡♡どば♡♡たばん♡♡ずりゅ♡♡ぐちゅ♡♡たばん♡♡ばちゅん♡♡ぬちゅ♡♡ばちゅん♡♡

「・・・あっ、待って待って♡♡♡♡その前に、結婚初夜はどうしよう！？♡♡♡♡盛大な結婚式の後に泊まる、すごく高級なホテルのきらびやかなスイートルームを予約しておかなきゃいけないよね！？♡♡♡♡」

「結婚までに何百回もイチャラブエッチしてきたのに、なぜかその日は2人とも緊張気味で♡♡♡いつもより言葉数少なくて、シャワー浴びた後もベッドの端で静かに座ったまま・・・♡♡♡♡♡」

「気まずい空気を打ち消すように、いきなり私が〇〇君をぎゅ～♡♡♡って抱きしめてキスをせがむの♡♡♡『今までで一番激しいキス・・・シて？♡♡♡♡♡』って♡♡♡♡♡」

「そこからはタガが外れたみたいに愛しあっちゃ♡♡♡あん♡♡♡あん♡♡♡〇〇君しゅき♡♡♡♡だいしゅきなのお♡♡♡♡もっと♡♡♡♡もっとお♡♡♡♡奥まで突いて♡♡♡♡」

「何十回も射精してるのにず～っと激しくばんばん♡♡ばんばん♡♡♡膣奥を抉るみたいに腰を打ち付ける〇〇君♡♡♡♡しゅき♡♡♡しゅき♡♡♡♡絶倫チンポカッコイ♡♡♡♡」

「最後はもちろんパイズリでフィニッシュ♡♡♡♡馬乗りパイズリでふっかい谷間に大量乳内射精♡♡♡♡びゅく♡♡♡どびゅ♡♡♡どびゅどびゅ～♡♡♡♡ながいおっぱいぐばあ・・・♡♡♡♡開いてザーメンブリッジ見せつけながら『これからず～っとよろしくね・・・私だけの旦那様♡♡♡♡』」

——ばん♡だばん♡どば♡♡ばちゅん♡♡たばん♡♡ばん♡♡ずりゅ♡♡ぐちゅ♡♡たばん♡♡ばちゅん♡♡ぬちゅ♡♡ばちゅん♡♡どば・・・♡♡♡♡♡

「ふふ♡♡♡♡結婚後の妄想、完璧でしょ？♡♡♡・・・いや、妄想なんかじゃないよね♡♡♡♡だって、〇〇君と私は本当に結婚して、幸せな結婚生活を送るんだから♡♡♡♡これからの未来に絶対起こること、だもん♡♡♡♡♡」

「でも・・・〇〇君にとって一番大事なことは、やっぱりパ・イ・ズ・リ♡だよ♡♡♡♡だって、大のパイズリ好きだから♡♡♡♡♡」

「〇〇君は、私と結婚したらどんなパイズリしてほしい？♡♡♡♡」

「うう・・・♡♡♡してもらいたいパイズリなんていっぱいありすぎて言い切れないよっ・・・♡♡♡♡♡」

「でも、沙織にしてもらえるならどんなパイズリでも嬉しい・・・♡♡♡♡だって、毎日このもちもちおっぱいに挟まれるなんて幸せすぎるからあ・・・♡♡♡♡♡」

「そうだね♡このでっっかあ〜いおっぱい独り占めして♡♡♡デカパイ奥さんに毎日どたぶんパイズリしてもらえるなんて♡♡♡♡ ○○君、と〜っても幸せものだね♡♡♡」

——だばっ♡ばちゅんっ…♡♡だばんっ♡どばっ♡♡ぱんっ♡ばちゅんっ♡♡たばんっ♡♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡たばんっ♡♡♡どばっ♡♡ばちゅん♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡

「大好きな着衣パイズリ、いっぱいシてあげるね♡♡♡かわいいブラジャーいっぱい用意して、○○君のその日の気分に合わせて着けて…♡♡♡乳圧強めのどたぶんおっぱいでたっぷり精液搾っちゃう♡♡♡♡♡」

「甘えん坊の○○君には、赤ちゃんプレイもいいよね♡♡♡『ボクくん、おっぱいにたくさんぴゅっぴゅできてえらいでちゅね〜♡♡♡もっとも〜とママのおっぱいに甘えまちょうね〜♡♡♡』って、全力で甘やかしてあげる♡♡♡♡」

「あっ♡マンネリにならないように、露出多めなえちえちコスプレもたくさんしてあげるね♡♡♡夫婦がセックスレス…パイズリレスにならないためには、いつもと違う刺激を加えるのは大事なことなんだよ？♡♡♡まあ、ズリキチの○○君なら大丈夫だと思うけど♡♡♡♡♡」

「学生時代に着てたぱっつぱつのスクール水着に穴を開けて〜♡♡♡ローションでぬるぬるになったデカパイまんこにおちんちん挿入♡♡♡体育の授業で男子にエッチな目で見られてた妄想しながらどちゅどちゅ♡♡♡ぱんぱん♡♡♡『このっ…♡♡♡ドスケベおっぱいめっ…♡♡♡今は俺だけのものだからなっ…♡♡♡』独占欲爆発した全力縦パイズリ♡♡♡♡♡」

「猫耳メイドのパイズリご奉仕♡♡♡『にゃんにゃ〜ん♡ご主人様のことがだ〜いすきな、えちえち猫耳メイドの沙織にゃんだにゃ〜ん♡♡♡もちもちおっぱいでずりずりにゃんにゃん♡♡♡ずりずりにゃんにゃ〜ん♡♡♡せーえきい〜っぱいぴゅっぴゅしてにゃ〜ん♡♡♡』って媚び声で煽られて我慢汁どぶどぶう〜♡♡♡そのまま猫ちゃんおっぱいのふっかい谷間に濃ゆいのどぴゅっ♡♡♡どぴゅどぴゅう〜〜〜♡♡♡♡♡」

「バニーコスでぴょんぴょんずりずり♡♡♡ぴょんぴょんずりずり〜♡♡♡性欲強めの沙織バニーちゃんがえっぐいドスケベ乳コキで精液ぶっこ抜きちゃう♡♡♡『寂しがり屋のウサギちゃんに濃ゆ〜いザーメンくださ〜い♡♡♡デカパイにたくさんぴゅっぴゅして〜♡♡♡』びゅくっ♡♡♡びゅくびゅくう〜〜♡♡♡♡♡」

「チアパイズリで応援もしてあげる♡♡♡『がんばれ♡♡♡がんばれ♡♡♡おっぱいに負けるな♡♡♡デカパイに負けるな〜♡♡♡』ってポンポンふりふりしながらずりずりしちゃうの♡♡♡たくさん乳内射精できたら、ご褒美のパイフェラじゅぼじゅぽお掃除でおちんちん綺麗にしてあげるね♡♡♡♡♡」

——ぱんっ♡だばんっ♡ずりゅっ♡♡どばっ♡♡ぱちゅんっ♡♡たばんっ…♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡ぐちゅっ♡♡たばんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡ぱちゅんっ♡♡ぬちゅっ♡♡どばっ…♡♡♡

「と～っても幸せでえちえちなパイズリ結婚生活♡♡♡ ○○君は、どのパイズリが好き？♡♡♡♡♡」

「全部っ♡♡全部しゅきっ♡♡♡沙織とずっとず～っとイチャイチャパイズリライフ送りたいっ♡♡♡」

「ふふっ♡♡嬉しい♡♡♡私も同じだよ♡♡♡ず～っと○○君にパイズリしてあげたいな♡♡♡♡♡」

——ビクッ♡♡♡ビクビクンッ…♡♡♡♡♡

「あんっ♡おちんちんビクッてしたあ♡♡せーえきもう出そ？♡♡うん♡♡いいよ、いっぱい出して？♡♡♡
彼女のデカパイに全力ぴゅっぴゅして？♡♡♡♡♡」

「パイズリ♡♡パイズリ♡♡もちもちおっぱいでパイズリ♡♡♡おっぱいもちゅもちゅ♡♡♡おっぱいずり
ずり♡♡♡♡♡」

「パイズリ気持ちいい♡♡♡ばくにゅー気持ちいい♡♡♡おっぱいたぽたぽ♡♡♡おっぱいぱちゅぱちゅ
♡♡♡♡♡」

「しゅきい♡♡♡ ○○君、だいしゅきい♡♡♡しゅきしゅきしゅきい♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「あっ♡♡♡♡♡で、でるっ…♡♡♡さ、沙織っ♡♡♡バストサイズ教えてっ♡♡♡♡♡♡♡」

「ふふっ♡そうだね♡ ○○君は、私の大大大好きな未来の旦那さんだから…♡♡♡♡♡」

「おっぱいのサイズ…教えてあげなきゃね♡♡♡♡♡」

「わたしのバストサイズは…♡♡♡♡♡」

「126cmの…♡♡♡♡♡Qカップ♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「で、でっっっかあっ！？♡♡♡♡♡ひやくにじゅうろくの…Qカップ！？♡♡♡♡♡いくらなんでも
デカすぎるっ♡♡♡♡♡」

「も、もうダメっ♡♡♡♡♡我慢できないっ♡♡♡♡♡あっ♡♡♡ああっ♡♡♡♡♡でるっ
♡♡♡♡♡でるっ…♡♡♡♡♡沙織のおっぱいに…でりゅっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「彼女のドスケベおっぱいのふっかあ～～～い谷間に♡♡♡♡♡濃ゆ～いせーえきどぴゅっ
♡♡♡♡♡ぶびゅっ♡♡♡♡♡びゅっくう～～～っ♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

——ぼびゅっ♡♡♡♡♡どびゆるるるるるっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

——どぴゅっ♡♡♡♡♡びゆるっ♡♡♡♡♡ぶびゆるるるるっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡どぷっ…♡♡♡♡♡びゅ
くっ♡♡♡ぶびゅっ♡♡♡♡♡びゆるるるる～っ♡♡♡♡♡♡♡♡♡

「あっ♡♡♡あああっ♡♡♡♡♡沙織っ♡♡♡沙織っ♡♡♡♡♡すき♡♡♡♡♡すきっ
♡♡♡♡♡しゅっきい～～～っ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「もっと出して♡♡♡出してっ♡♡♡もちもちどたぶんおっぱいにしゅきしゅきぴゅっぴゅプロポーズしてっ♡♡♡♡どぴゅっ♡♡♡♡♡びゅくっ♡♡♡♡♡どぴゅどぴゅどぴゅう〜〜〜っ♡♡♡♡♡♡」

——ぼぴゅっ♡♡♡♡どぶっ♡♡♡♡びゅくっ…♡♡どぴゅっ♡♡♡ぶぴゅぴゅっ♡♡♡♡びゅくっ♡♡♡♡♡ぼびゅ♡♡♡♡♡ぶびゅるる♡♡♡♡♡びゅるるっ……♡♡♡♡♡♡♡♡

——どぶっっ♡♡♡♡♡♡びゅくっ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

「あっ…♡あっ…♡沙織…♡♡しゅき…♡♡♡結婚して…♡♡♡」

——ビク…ッ♡♡♡ビクンッ…♡♡♡

「はあ…♡♡♡はあっ…♡♡♡す、すごおい…♡♡♡♡濃ゆいのこんなにたくさん…♡♡♡♡♡
○○君のせーえきで全身ドロドロになっちゃった…♡♡♡♡♡」

「ほら…見て？♡♡♡ おっぱいの谷間…♡♡♡ ○○君と私の……愛の結晶だよ♡♡♡♡♡」

——ぐっぱあっ……♡♡♡♡♡

——ぐちょっ…♡♡♡♡♡どろろおお…っ♡♡♡♡♡♡♡♡

「…ふふっ♡ ○○君…♡♡将来赤ちゃん作る時も、これくらいたくさん射精してね…？♡♡♡」

* * *

「○○君、おっぱい気持ちよかった？♡」

「…ふふっ、そんなによかったんだ♡嬉しい♡」

「これからも、いっっぱいパイズリしてあげるからね♡」

「…大好きだよ♡」

ちゅっ♡

-終-